

ティードフラッグス2022 作品一覧

作品番号	タイトル	説明文	入選
1	史繫門(しけいもん)	私が計画地を訪れた時、発展した沖縄の姿を誇らしく思う気持ちと、地下に残る戦争の記憶、2つが同時に私を襲いました。私はこの場所に必要な物は、2つの感情を整理し、理解することができる場所なのではないかと思ったのです。そのための門、過去を知り、現在を見る、歴史を繋ぐ門「史繫門」を提案いたします。	○
2	その先にあるもの	この場所から見える景色全てが大切な風景と感じられるような建築にしたいと考えました。場所と人と歴史を結びつける。それがこの建築の目標です。	
3	愛し子 -あの日をほぐす展望台-	「くぐる」を繰り返し、壕での記憶を昇華する。滑り台からまちを眺め、幼少期の平穏な記憶を呼び起こす。 あの日の記憶をほぐし、平和や自分の大切な人を愛おしく思うための展望台。	
4	どうくつと空 対比から気づくこと	暗く狭い防空壕に身を潜めていた時代を振り返り、戦争の時代と現代の平和な時代との対比を感じることで、頂上の景色から平和の尊さを感じられる展望台。	○
5	街に至る道	街の風景に少しだけ違う解釈を与えるために、道を演出しました。 庇の出た休憩所は個々の大きさで計画し、落ち着く空間を目指しています。	
6	祈りの展望台	慰霊の日の6月23日の正午にさし込む「祈りの光」により、新たな平和祈念の場としての活用を提案します。	
7	夕焼けの丘	この地の風景に新たな要素を加え、思い思いに訪れる人々が楽しめる展望台を提案します。	○
8	テンセンー視線で地点をつなぐ建築ー	この地でなければ生まれない。この地でなければ意味がない。そんな建築。	
9	Scrum(スクラム)	お互いの違いを認め、尊重する。それぞれの想いを重ね、支え合いながら、大切なもの(平和)を守り育てていく。そんなメッセージを込めた展望・休憩施設です。	
10	パノラマ結の木	パノラマが作り出す自由な風景の切り取り方は、様々な体験を提供する。同時に開放された空間は、異性格の外部環境と接すること変化する。	
11	丘上の礼拝洞	壕内に差し込む「一筋の光」を日陰に差し込む「一筋の光」と見立てた街の平和を祈る礼拝空間を提案する。 「一筋の光」の元に祈りが集い、明るい街が形成され続けられる未来に思いをはせる場となる。	
12	Chronicle Axis ~高台としての歴史を継承する展望台~	人々に忘れ去られつつある“高台としての歴史”が示す軸線を建築によって現すことで、その歴史を未来へ受け継いでいく展望台を提案します。	○
13	風樹の窓	建築を構成する[屋根:窓]を[見えない境界:様々な視点]のメタファーとして再構築することで、平和について考える展望台を提案します	
14	直線上の展望台	「現在の時の流れに阻まれた風景」ではなく、「少し先の時の流れを許容しつつ変わりゆく美しい風景」を楽しむ展望台の提案	○
15	日和の傘	戦争という悲しい過去に濡れないよう傘をさし、平和の晴天を願う場所を提案します。	
16	ささやかな展望へのきっかけについて。。。	なにか大切なものに気づくときは、いつも、ささやかなきっかけがあるものだ。どんな過去も受け入れ、その先の希望に気づきたいものである。	
17	見上げる街並み	展望台から見える街並みを平和の象徴として捉え、展望施設の天井に街並みをモチーフにしたデザインを投影しました。	
18	向こう側の見える展望台	360° ビュー確保のフレームを各方向に設置し、境界線を設け、沖縄の美しい景色を印象づける展望台を設計しました。	
19	心の瞳	暗く湿った過去を後に残し、長い階段を上ると、陽光溢れる今に解放される。影と光を優しく紡ぎながら、心の瞳が見つめる「一番大切なもの」その輪郭を肌で感じるような空間を提案する。	学生賞
20	歴史を望む展望施設	沖縄の歴史的要素をみてもらうことで、沖縄の歴史について再考してもらう展望施設	

※入選とは、1次審査を通過した者を示しています。

ティードフラッグス2022 作品一覧

作品番号	タイトル	説明文	入選
21	平和と癒しの重要拠点	戦争の悲惨さと平和の大切さを訴えていく海軍壕公園の新たなシンボルとなる、訪れた人に癒しを与える展望・休憩施設。	
22	羽ばたく願い	本施設は、人々が景色を眺め、「戦争の過去を思い・未来の平和を願う場」とし、近隣の人々からも愛される展望施設になるよう計画した。	
23	たまりばの眺望	周囲の景観を見るためだけの展望台ではなく、レベルの異なる「たまりば」を計画し訪れる人も風景に取り込む「2つの風景」を眺望できる展望台を提案します。	
24	空への展望台	空を眺めることで未来に平和を紡ぐ場としての展望台を提案します。	
25	周囲へ寄り添う「新たなヒバムイ」	戦前の歴史、戦争の歴史、展望台としての機能という3要素のレイヤーを重ねることでその地にふさわしい建築を提案します。	
26	平和の狼煙	風と光を感じながら静かに平和への想いを寄せられる、空に昇る狼煙をイメージした屋根が大きな陰をつくる展望休憩所	
27	静かな空に想いを馳せて	平和ってなんだろう、それは「静かな空ではないでしょうか」戦時中振りそそいだ”鉄の雨”、流れていく日常の中に耳をすませる、その時間をおくりたい。	
28	ハネヤスメ	羽ばたく鶴が来訪者を出迎え、くつろぐ「羽を休める」場所、そして平和の尊さの発信場所として、新たなランドマークとなる展望台を提案。	
29	現在を望み、未来を希む展望台	「過去」と「現在」と「未来」、相反する関係でありながら、心理的に螺旋状につながる。それぞれの「時間」を感受できる場所を提案する。	○
30	海軍壕公園展望台	スロープを設置することで老若男女誰でも楽しめる空間を目指しました。景色以外にも楽しめる事を提供したいので屋根に一工夫加えより楽しい空間になりました。	
31	丘の上 -敷地形状を読み解く-	丘の上から展望台をはねだすことにより、休憩所の前面に平らな半弧のオープンスペースをつくり出す。夕日の沈む方向に向けられた展望台、景色のひらけた南側に向けた休憩所の提案。	
32	景色の箱庭	ひとつにつながった景色を切り分けることで断片化された景色を点在させた。	
33	平輪と光	公園の高台に、大きな「輪」と小さな「輪」の屋根をかけた。「平和」を感じ、考える空間として、新たな展望台兼休憩所を提案する。	
34	陸のはこぶね	展望機能と休憩機能を一つの塊に集約することで、人を乗せる“陸のはこぶね”に見立てたデザインとしました。	
35	コモン・ハート	平和を願うハート型の展望台。浮遊感のある張り出したスロープを登ると360度景色を望むことができる人々が交わる憩いの場を計画しました。	
36	平和の花咲く展望台	海軍壕公園は、穏やかな街並みと海が望めます。この景色が続きますよう、永遠に咲き続ける”平和の花”（展望台）を植えることにしました。	
37	SOU	過去から未来の【想い】を【層】のように屋根を表現。暗く辛い時代と明るい未来を感じながら、戦没者に【寄り添う】ことができる展望台を目指した。	○
38	ORIGAMI -想いを重ねる展望台-	先の大戦で激しい戦場となった場所に折り紙をモチーフにした平和のシンボルとなるような展望台を提案します。	
39	のきのきのき	1枚の壁からなる柱とベンチを三叉状に配置して3つの軒先をつくりました。シンプルな構成でいくつもの現象を仕掛けています。	
40	結び寄り添う展望台	戦争の歴史を学んだ幅広い層の来園者が穏やかな街並みを眺めながら、平和への想いを巡らせることのできる展望台を提案します。	

※入選とは、1次審査を通過した者を示しています。

ティードフラッグス2022 作品一覧

作品番号	タイトル	説明文	入選
41	SPIRAL DANCE	旧海軍司令部壕を反転させる。 反転させることで、苦しんだ暗い過去の分、幸せな明るい未来になる様にと想いを込めた。	
42	未来を臨む天空壕	今年で戦後77年になる沖縄。戦争の記憶の継承が重要となるこの時代。海軍豪の対となる未来を臨める展望台・休憩所を提案します。	
43	“平和”を望む丘	風景をきりとった壁が訪れた人を引き込み、屋根から降る光が平和を謳う。 ひとりひとりが“平和”を思い、願う場所。	
44	「居る」マンチャー	歴史の眠るこの地に多くの人が気軽に立ち寄れる建物を提案することで、それぞれの想いが混ざり合う建物になるよう提案します。	
45	開かれた5枚屋根の展望休憩所	過去の戦争を乗り越えた強さとともに、街も成長し、広がっていく。そこでおおらかに「いま」を受け入れ、のびのびと「未来」にも目を向ける展望休憩所を提案します。	
46	～包む～ 対をなす体験から得られるもの	訪れた人たちを優しく包みこむような建築	

※入選とは、1次審査を通過した者を示しています。